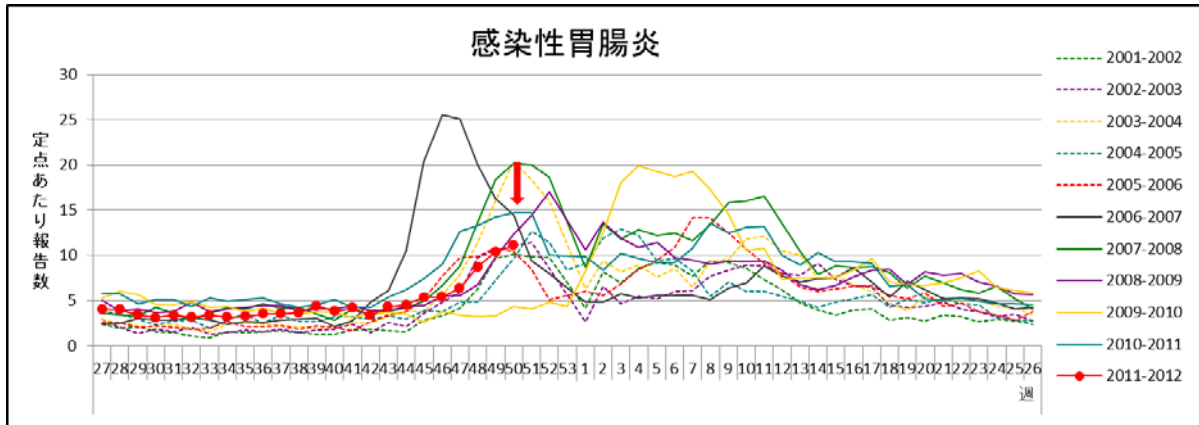


感染性胃腸炎情報 第 50 週 2011 年 12 月 12 日～12 月 18 日

- 岡山県内の患者報告数は 599 名、定点あたり 11.09 人（定点医療機関 54 定点）に増えました。
- 患者は岡山市・備前地域・真庭地域で増加し、倉敷市・美作地域では多い状態がつづいています。
- 感染性胃腸炎による臨時休業が、倉敷市 2 施設・玉野市 1 施設でありました。

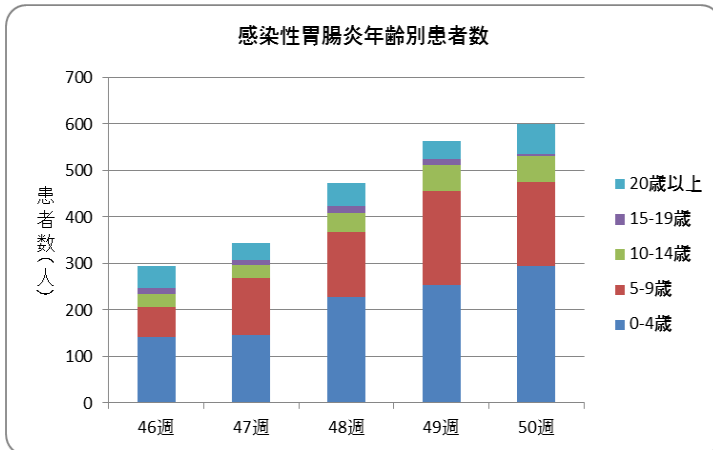


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週～翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、県全体では増加しました（定点あたり 10.41 → 11.09 人）。患者は、岡山市（17.14 人）、備前地域（12.00 人）、真庭地域（11.50 人）で増加し、倉敷市（9.64 人）、美作地域（10.67 人）では多い状態が続いています。特に岡山市では患者が急増しています。第 50 週、感染性胃腸炎による学級閉鎖が倉敷市 2 施設、玉野市 1 施設でありました。学校や福祉施設、病院などでは感染が拡大することがありますので注意して下さい。冬の集団発生の原因はノロウイルスによるものが多いと言われ、現在、岡山県では『食中毒（ノロウイルス）注意報』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。

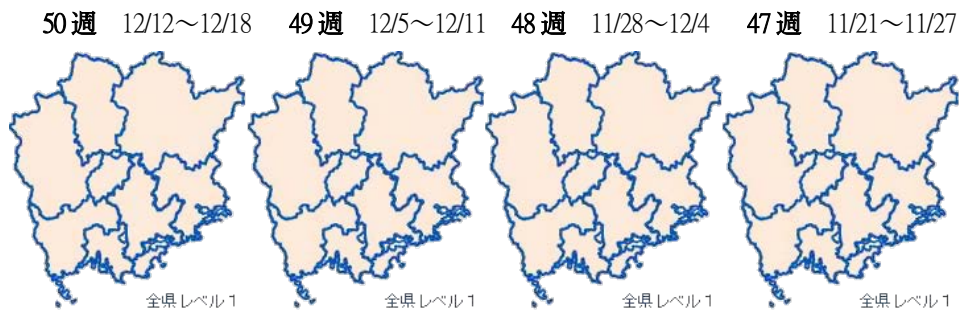
患者の年齢分布は 0-4 歳が最も多く、約半数を占め、中でも 1 歳の患者報告が多くなっています。また、20 歳以上の患者報告も増えています。お子さんの体調の変化に注意して、早めに医療機関を受診してください。嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので注意が必要です。

- 手洗いの励行
- 患者の便・吐物の処理を確実に行う
- 食品は過熱調理を確実に
など、感染予防に努めましょう。



○ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・ [家庭等一般の方々へ](#) ・ [医療従事者・施設スタッフ用](#)

岡山県地区別 感染症マップ 感染性胃腸炎 2011 年 50 週



レベル3		レベル2		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値		基準値	基準値
20	12			0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。